

富士山からよみとく、 〈日本〉のかたち

静岡県富士山世界遺産センター 令和8年度特別展
シリーズ江戸文化のなかの富士山 9



静岡県富士山世界遺産センター 令和8年度特別展
シリーズ江戸文化のなかの富士山 9

富士山からよみとく、〈日本〉のかたち

会期／令和8（2026）年10月3日（土）～11月8日（日）

開館時間／9:00～17:00（最終入場16:30）

休館日／令和8（2026）年10月20日（火）

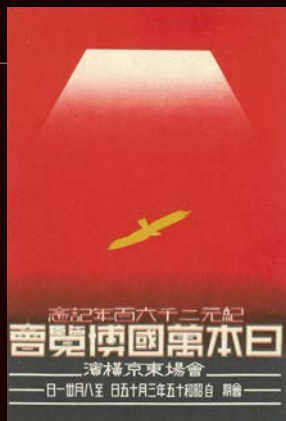
観覧料／一般1,100円 団体1,000円、70歳以上300円、

大学生以下・障がい者等 無料（証明書をご提示ください）

※観覧料で常設展・シアターもご覧いただけます。

主催／静岡県富士山世界遺産センター（静岡県富士宮市宮町5-12）

古来人々の崇敬を集め畏怖の対象となってきた富士山は、〈日本人〉の発想形式や行動様式、心性、美意識、倫理観、そしてイデオロギーを歴史的に映し出してきたアイデンティティの鏡であるとともに、〈日本〉という共同体を象徴的に可視化するイメージとしても機能してきた。とりわけ、江戸時代から明治へと時代が推移し、〈日本〉が立憲君主制をとる国民国家の道を歩みはじめると、将軍権力のメタファーであり巨大都市江戸のアイコンでもあった富士山は、天皇の「神聖不可侵」性をまといつつ、〈国家〉〈国民〉統合のための政治的な装置へと変貌をとげていく。それは〈国語〉の創生と普及とも軌を一にする。本展覧会では、近代における〈国家〉〈国民〉の創生と富士山の政治的・文化的・精神的な相関関係について、幕末から昭和戦前期にいたる富士山と将軍・天皇にまつわるイメージを中心に検証し、〈日本〉および〈日本人〉のシンボルとしての役割を確認する。



中山文孝画 紀元二千六百年記念日本万国博覧会絵はがき 1940年 個人蔵



上條與茂太郎画 凱旋記念大観兵式御臨幸第一公式鹵簿之図 1906年 個人蔵



梅堂国政（三代歌川国貞）画 青山練兵場観兵式ノ図 1888年 個人蔵



横山大観 日本心神 1940年頃 個人蔵



岡田紅陽 神韻霊峰 七面山 1943年 個人蔵

関連イベント ※諸般の事情により変更・中止の場合あり

公開講座

「富士山からよみとく、〈日本〉のかたち」

令和8（2026）年

10月18日（日）13:00～16:00

静岡県富士山世界遺産センター
研修室

【パネリスト】

須藤遥子（摂南大学教授／科研「富士山とナショナリズム」研究代表）

植田彩芳子（大阪大学教授）

小原真史（東京工芸大学准教授）

竹内幸絵（同志社大学教授）

長門洋平（東京都立大学准教授）

松島仁（当センター教授）

※要事前予約

（先着50名／HPにてお知らせします）

主な出展作品

- 狩野董川中信筆 富士飛鶴図 静岡県富士山世界遺産センター蔵
- 三代歌川広重・歌川貞秀ほか画 御上洛東海道 静岡県富士山世界遺産センター蔵
- 歌川貞秀・月岡芳年ほか画 末広五十三次 静岡県富士山世界遺産センター蔵
- 月岡芳年画 東海道大井川風景之図 静岡県富士山世界遺産センター蔵
- 三代歌川広重画 東京日本橋御高札場ノ図 個人蔵
- 梅堂国政（三代歌川国貞）画 青山練兵場観兵式ノ図 個人蔵
- 小川寿恵画 帝国観兵式 個人蔵
- 安藤伸太郎画 御題新年山 個人蔵
- 上條與茂太郎画 凱旋記念大観兵式御臨幸第一公式鹵簿之図 個人蔵
- 横山大観 日本心神 個人蔵
- 岡田紅陽 神韻霊峰 七面山 個人蔵
- 中山文孝画 紀元二千六百年記念日本万国博覧会絵はがき 個人蔵 ほか多数

【特別協力】日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究（B）「富士山とナショナリズム：近現代史における神話的シンボルに関する学際的研究（23K25292）」代表 須藤遥子（摂南大学教授）

表紙デザイン：狩野董川中信筆「富士飛鶴図」（当センター蔵）部分、「江戸大節用海内蔵」「大日本略図」（個人蔵）部分



静岡県富士山世界遺産センター

【アクセス】

新幹線／新富士駅からバスまたはタクシー約40分

電車／JR身延線富士宮駅から徒歩8分

お車／新東名高速道路新富士ICから約10分・東名高速道路富士ICから約15分

※当センターには来館者用駐車場はありません。

（隣接の富士宮市神田川観光駐車場（有料）をご利用ください。）

〒418-0067 静岡県富士宮市宮町5-12

TEL 0544-21-3776 FAX 0544-23-6800

WEB <https://mtfuji-whc.jp>



撮影：平井広行

